

「防災の日を前に思うこと」

9月1日は防災の日です。防災の日を前にして、私の体験を伝えます。

3月11日、私は、妹夫婦と父母、3歳の娘、10ヶ月の息子の7人でディズニーランドにいた。

14時46分、地面は水に浮かべたビート板のように揺れて、目の前のシンデレラ城がバネのように曲がった。城が今にもポキッと折れるのではないかと思いつつも、ただただ子どもを抱きしめることしかできなかった。どのくらいの時間、そうしていたのか覚えていない。キャストからその場を動くなという指示が出た。ワールドアーケードの安全が確認できるまでは帰ることもできないとのこと。アトラクションはすべて停止しており、緊急停止解除まで固定されたままの人、非常口から徒歩で降りた人もいたと聞いた。安全点検を待っている間に日は落ち、どんどん冷えてきた。ゴミ袋が配られ、ベビーカーにかぶせてその中で2人の子どもを抱いて座った。やっと駐車場に出られたのは、夜の7時。液化化現象で割れたアスファルトに落ちている車もあった。幸いにも私たちの車は無事。これで妹の家のある神奈川まで帰れば…が、首都圏は停電のため交通機関が麻痺しており、人も車も渋滞して帰宅困難に(首都圏で515万人)。あらゆる道が渋滞しており、どんなに迂回しても神奈川に抜けられない。結局、妹の家に着いたのは翌朝5時だった。とにかく子どもの命を守れたのだから万々歳。

千葉でもあれだけ揺れた。神奈川に戻っても、余震だけで眠れなかった。地震だけでなく津波にも襲われた被災地を思うと胸が詰まる。

東日本大震災のあった10年前、生徒のみなさんはまだ小さく、記憶としては少し薄いものかもしれませんが、それでも、記録に残る映像や被災者の語りには、言葉を失う衝撃を受けた人も少なくないでしょう。あの日を忘れず、また近年のコロナ禍にあって当たり前の日常に対する感謝の気持ちがより強くなりました。

生徒の皆さんの高校生活も制限を強いられる今だからこそ、小さな幸せを見つけ、今できることに精一杯取り組みたいものです。ちなみに私の小さな幸せは、夜のスイーツです。

夏休みを終えて、生活リズムの崩れている人もいるかもしれませんが、「凡事徹底」が大事です。急に大きなことはできませんが、日々、一步一步前進しましょう。

(104HR担任)

「努力と挑戦」

今季メジャーリーグを熱くしている選手といえば、ロサンゼルス・エンゼルスの大谷翔平が一番に思い浮かぶでしょう。現在ホームラン争いに加わっており、投手としても勝利を重ね、リアル二刀流として大成功を収めています。

日本のプロ野球に入団当時から、打者と投手の両方で成功することは不可能だ、あるいは困難である、とささやかれてきました。しかしながら、それを覆す現在の働きは、日本やアメリカだけでなく、全世界が注目しています。あらためて何事にもチャレンジすることの大切さを認識させられたのではないのでしょうか。

また本人の言動や取り組む姿勢・周囲とのコミュニケーションについてもチームメイトやファンからも好感を持たれています。応援したくなる選手であり、環境を味方につけたことも成功の一つだと思います。そして、華々しい活躍の裏には必ず、並々ならぬ努力の積み重ねがあることでしょう。

ぜひ日本人初のメジャーリーグホームラン王になってもらいたいと思います。

「頑張れ、努力の天才！」

(104HR副担任)